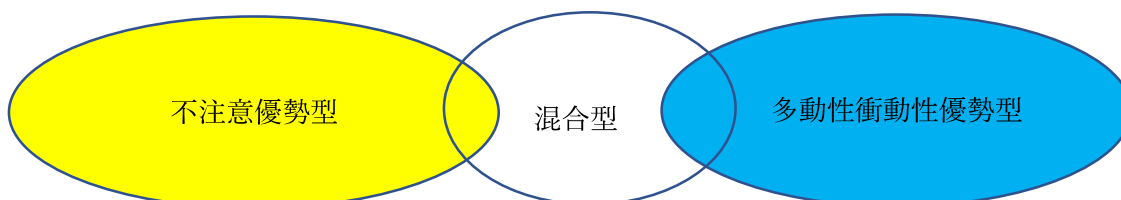


③ 注意欠如・多動症 (Attenn Deficit Hyperactivity Disorder) 講師：岩永 竜一郎
 <ADHD の 3 つのタイプ>



<併存症>

- ・ ADHD 児の 52% に併存精神疾患が認められる。

2 次障害の要因

- ・ 大人の間違った関わり
- ・ 出来ない事による劣等感
- ・ 反社会的な仲間

<ADHD 児に関わっている大人が陥りやすい状況>

- ・ 多動衝動性のある場合

ふざけ、わがまま、反抗的な子どもと感じる ⇒ 叱る、厳しい指導、虐待

- ・ 不注意のみの場合

迷惑はかけないため問題に気付かない、根性がなく怠け者を感じる

⇒ 何もしない、放っておく、叱る

<各時期の ADHD 特徴>

児童期	思春期 児童期の AD/HD の 70%	成人期 児童期の AD/HD の 30 ~50%
着席困難 おしゃべり 手を上げないで答える ルールに従わない 友だちにちょっかいを出す 短気 言いつけを守らない 日課を忘れる 身の回りのことをしない	反抗・挑戦性障害の併存 薬物乱用 学校生活からのドロップア ウト 学校での忘れ物、課題を終わ りまでできないなど積み重 ねの必要な学習をしない	仕事を頻繁に変える 長く単調な仕事に注意をし 続ける事が難しい 自動車事故が多い、大きなけ がをする 新しい刺激があると重要な 課題からそれてしまう